

都筑区自立支援協議会
令和5年度 第2回 全体会

進路部会 年間報告



神奈川県立あおば支援学校
移行支援担当 伊奈 瞳



部会設置の目的

障がいのある高校生が、学校を卒業してからも
社会人として地域の中で安心して生活していくため、
その移行期に関わる学校、日中活動や就労支援の事業所等が
移行支援に関する課題について意見交換を行う

<構成メンバー>

特別支援学校・サポート校・生活介護事業所・就労継続支援(A型/B型)事業所・
就労移行事業所・地域活動支援センター作業所型・就労支援センター・区・基幹
など 計86機関

進路部会 幹事

神奈川県立高津支援学校
川崎北分教室
松井 氏

横浜市多機能型拠点
つづきの家 はぴねす
青木 氏

うれしの
鈴木 氏

都筑区こども家庭支援課
勝野 氏

【部会長】
神奈川県立あおば支援学校
伊奈 氏



ハイブリッドで
計7回の幹事会を
開催

横浜市立日野中央
高等特別支援学校
鍋田 氏

プリムラ496
大浜 氏

ピアジョブサポート
センター北
菊地 氏

都筑区基幹相談支援センター
中谷・八木澤

わたしたちの思い・願い☆

学校を卒業してからの生活が、障がいがあっても

地域の中で 安心して その人らしく

ご本人の中に
新しい生活への
<期待感>
を育みたい…!



ご本人には
新しい生活への
<ワクワク>
を抱いてほしい!

そのために、わたしたち（福祉・教育・行政など）は
何をすべきか、何ができるのか

進路部会で議論してきたテーマ



- 各回とも「移行支援」にかかわるテーマを設定
- 今後の卒業生の動向データなども情報提供し、地域での受け入れについても視点が持てるように話題提供

令和5年度の取り組み

第1回:令和5年8月24日 63名ご出席

「見学や実習のあり方、変わっていくこと・変わらないこと

～ご本人の可能性を広げるために～」

・神奈川県立あおば支援学校 伊奈氏 より

実習のルール「紳士協定」について

(その一方で)見学や実習のあり方が多様化している状況について

・グループワーク:見学や実習の実情を共有、「**本人の可能性を広げる見学や実習のあり方**」「**多様化しているからこそ変わらずに大切にしたいこと**」などについて意見交換

令和5年度の取り組み

第1回: 令和5年8月24日 63名ご出席

見学や実習のあり方、変わっていくこと・変わらないこと

～ご本人の可能性を広げるために～

見学は、できるだけ
制約がない形で
できるといいね

実習は、より本人に
合った形で柔軟に
できるといいね

学校と事業所が
情報共有と
コミュニケーション
をもっと密に

意思決定支援が
なにより大事だね

『学校・事業所基礎
情報』令和5年度版
も作成しました！



都筑区自立支援協議会
進路部会

学校・事業所基礎情報

令和5年度版



令和5年度の取り組み

第2回:令和6年1月31日 54名ご出席

「卒業後も、必要な支援ネットワークを継続・構築するために」

・神奈川県立あおば支援学校 伊奈氏 より

学齢期の相談支援体制について～県立支援学校の場合

・グリーンフォレスト相談室 五浦氏（相談支援部会 部会長）より

横浜市の相談支援機関と計画相談員の業務について

・都筑区福祉保健センター こども家庭支援課 勝野氏 より

高校3年生と区役所のかかわりについて

・グループワーク:卒業後も、「相談」を受けとめ、必要な支援につなぐために
「必要なこと」「できること」について意見交換

令和5年度の取り組み

第2回:令和6年1月31日 54名ご出席

卒業後も、必要な支援ネットワークを継続・構築するために

学校と事業所、
支援者と支援者の
引き継ぎを
より丁寧にできると
いいね



計画相談が質・量とも
に拡充するといいね
子どもの時から
相談支援につながって
伴走支援ができる！

学校も、事業所も、
横浜市の「相談支援体
制」を知っておけると
活用できるね

学校や事業所が
日頃から、一次・二次
相談支援機関などと
つながっておけると
いいね

「相談」は
だれもがすること
当たり前で大切なこと
ってなるといいね

来年度にむけて

「進路部会」=移行支援 は こども と おとな の間にある

👉 他部会との共通課題が多い

- 子どもの時から、卒業後も、切れ目のない支援の構築
- 計画相談支援の拡充
- 重い障がい(医ケア等)のある方の地域生活支援
- 本人中心の「意思決定」の実現
- 地域とのつながりと障がい理解の促進



来年度にむけて



- 学校と事業所等の意見交換の場として
 - ☞ 障害の状況にかかわらず共有したいテーマで
 - ☞ 課題やニーズを話せるグループワークをたっぴりと
- 他部会(計画相談部会、こども支援部会など)での取り組みについて情報共有、意見交換もできれば…

学校を卒業してからの生活が、障がいがあっても
地域の中で 安心して その人らしく